

2004年4月12日

高校生は新聞を読んで考えよう
ーエンパワーメント(能力強化)をめざしてー

開倫塾
塾長 林 明夫

Q 林さんが一番新聞を読みたくなるのはどんな時ですか。

A (林明夫。以下省略)外国に出掛けた時ですね。日本にいと、新聞は毎朝、自宅や職場に配達されてきますが、外国では、ほとんどの国が新聞は街や駅の近くのニュース・スタンド(新聞販売所)などでしか手に入らない国がほとんどだからです。その国を代表するような大きなホテルでは、部屋に届けてくれたり、ホテルの売店で売っていることがあります。それは例外中の例外といえます。

Q 林さんは外国旅行中はどのようにしているのですか。

A ホテルで新聞が手に入る場合は大喜びしていますが、手に入っても私が読めるのは日本語と英語だけですので、それ以外の言語の場合は、街のニュース・スタンドの場所を教えてください日本語か英語の新聞を買いに毎朝出かけます。困ってしまうのは英語が母国語や公用語になっている国を除いて、英語の新聞でも手に入る国は余り多くないということです。まして、日本語の新聞を手に入れることはなおさら難しいです。

ですから、やっと手に入った英語の新聞は宝物と同じで、隅から隅まで何時間もかけて読むようになります。まして、日本語の新聞なら、なめるように一語一句大切に読んでしまいます。もちろん、折角手に入れたものなので次の新聞が手に入るまで、カバンの中に入れて大切にします。

日本で毎日読んでいる「ヘラルド・トリビューン」という朝日新聞から配達される英語の新聞と、日本で毎週読んでいる「エコノミスト」というイギリスの週刊誌が外国に行った時手に入ると、何時間かは我を忘れて読んでしまいます。そのくらい外国の普通の街で英語の新聞や雑誌を手に入れるのは難しいです。

Q 外国では、その国の言葉で書かれた新聞も毎朝家庭や職場に配達されないというのは本当ですか。。

A ホテルなどは別として、普通の市民が新聞を手に入れることができるのは、街に何か所かある「ニュース・スタンド」だけの国が多いようです。

日本の新聞配達店の皆様は、朝2時から出勤し、大雨の日も、大風の日も、雪の日もほとんど例外なく朝7時ころまでには新聞を各家庭まで届けてくださいます。日本が誇れる素晴らしい仕事の1つだと思います。

Q そろそろ本題に入らせてもらいます。新聞を読むことと考えることは、どのような関係があるのですか。

A これからの「知識社会」で今までにも増して大切なことは、ものごとを自分の力で考えることです。

ただ、気をつけなければならないのは、自分の力で考えるといっても、ごく身近な人の話や、自分が直接見たことだけを材料にして考えることはできるだけ避けた方がよいということです。テレビからの情報は限られた時間の上に、番組は視聴率を気にしながら番組は作られるため、バランスを欠くものが多いです。

私は、物事を考える時には、自宅に配達される新聞をまずは毎日じっくり読み込み、広く世の中の動きを見極めた上で、深く深く考えることを高校生の皆様にはお勧めしたい。一つの新聞だけですと、物事の見方に偏りが出てきますので、もしできれば、週に1回くらいは、学校や市町村の図書館で、別の新聞を読むことをお勧めします。

Q エンパワメント(能力強化)とは何ですか。新聞を読んで考えることと、どう関係があるのですか。

A 新聞を読んで考えるのは何のためか。結論を出して、自分の責任で行動するためと私は思います。結論を出す必要のあるひとは、新聞などをよく読み深く考えることが大事です。そして深く考え出した結論を実行に移すことはもっと大事だと思います。

困難な状況の下でもかけがえのない人間として、その活力を発揮できるようにすることが、エンパワメント(能力強化)といえます。新聞を読み深く考えた上で自分なりの結論を出し、その実現に向けて行動し続けることは、高校生の皆様のエンパワメント(能力強化)に大いに役立ちます。

Q 英語の新聞も読んだ方がいいのですか。

A 高校を卒業した人は英語の新聞がスラスラ読めることが海外では普通のように。まして、大学まで出た人が英語の新聞を読めないことは海外では想像すらできないようです。現実の話として、日本の高校生の7~8割は高校卒業後、大学等の高等教育機関に進学して、高度な勉強をするのですから、高校生の内から英語の新聞は毎日読む訓練をすべきです。日本語の新聞を一面から1時間じっくり読み、よく内容の分かっているところだけでいいですから、英語の新聞を1日1時間お読みになることを高校生の中に習慣づけることをお勧めします。

読売新聞から配達される「デイリー・ヨミウリ」か、朝日新聞から配達される「ヘラルド・トリビューン」をお勧めします。スポーツや日本関連の記事など、なじみやすいところから挑戦してください。

新聞店に頼むと配達してくれます。学校などの図書館でも読めます。

Q 最後に一言どうぞ。

A 新聞を読んでいて興味のあるところは、家の人の許可を得て切り取り保存しておくこと、カードに貼り付け自分の意見を書いておくこと、もう少し知りたいなと思ったら、雑誌や単行本を買ったり、図書館で閲覧し、理解を深めること、インターネットで調べてみること、意見があれば、新聞の投書欄や論文コーナーに応募することも面白いです。新聞記者を訪問したり、記者の方を講師にお招きしてお話を伺うと興味は尽きず、勉強はどんどん深化します。

学級新聞や学校新聞づくりに仲間入りすることも素晴らしいと思います。

日本の新聞文化は世界でも一流だと私は思います。新聞を読み深く考える習慣を高校生のうちに身につけ、エンパワメント(能力強化)に役立ててくださいね。では、また。